

第49回関東甲信越静社会教育研究大会長野大会 (兼)第28回長野県社会教育研究大会 開催要項



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

1 大会スローガン

信州で 出合い・ふれあい・学びあい
～皆で語ろう 地域づくりは人づくり～

2 研究主題

連携・協働による未来志向の社会教育のあり方を考える
～持続可能な地域コミュニティを目指して～



福祉の心
ふっころ
長野県社会福祉協議会
公式キャラクター

3 開催趣旨

今日の社会は、少子高齢化や生産年齢人口の急減、また、核家族化の進行、地域住民相互の人間関係の希薄化等により、地域コミュニティ崩壊の懸念や地域・家庭の教育力の低下など、様々な課題に直面しています。

これまでも、社会教育は、それぞれの地域において、多様な学びの場や機会づくりに取り組み、人と人がつながる地域コミュニティの維持・形成に努めてきました。

長野県は、北・中央・南という3つのアルプスすべてが圏域に位置する特性から、山間の急峻な土地に暮らすなど、厳しい自然条件のなかで暮らす人々が多く、それらの条件を克服するために、人と人との絆を大切にしながら、人づくり・地域づくりに向けた社会教育活動に取り組んできました。

しかし、今日の社会の状況を考えると、これまで以上の人々の学びや、学びを力にした地域づくりの取り組みを進めることが必要であり、そのためには、これまでのつながりを超えた幅広い連携・協働が求められています。

本大会では、新たに、公民館や社会福祉協議会等と共催し、各機関の持つ強みを結集した、新たな社会教育の可能性を考える一つの契機と考えました。

「信州で出合い・ふれあい・学びあい ～皆で語ろう地域づくりは人づくり～」のスローガンのもと、各地域や個人の活動の実践を題材に、持続可能な地域コミュニティを築く、あるいは築き直すうえでの未来につながる社会教育のあり方について研究協議することを趣旨とします。

4 期日

平成30年11月15日(木)～16日(金)

5 会場

1日目【全体会】

ホクト文化ホール(長野県県民文化会館) 中ホール 〒380-0928 長野市若里1-1-3 ☎026-226-0008

2日目【分科会】

長野バスターミナル会館 4階 国際ホール (1つの分科会)

〒380-0936 長野市中御所岡田178-2 ☎026-228-1156

JA長野県ビル 12階 12A会議室、12B会議室 (2つの分科会)

〒380-0826 長野市南長野北石堂町1177-3 ☎026-236-3600

長野市生涯学習センター 4階 大学習室1、大学習室2・3 (2つの分科会)

〒380-0834 長野市鶴賀問御所町1271-3 TOiGOWEST(トイーゴウエスト)内 ☎026-233-8080

6 参加者

関東甲信越静各都県の社会教育委員及び公民館・社会福祉協議会をはじめとする社会教育・地域福祉関係者、社会教育・福祉教育・生涯学習・地域づくりに心を寄せる方 等

7 主催

一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、第49回関東甲信越静社会教育研究大会長野大会実行委員会、長野県社会教育委員連絡協議会、長野県教育委員会

8 共催

長野県公民館運営協議会、社会福祉法人長野県社会福祉協議会、長野県民生委員児童委員協議会連合会、長野市教育委員会

9 後援(予定)

長野県、長野市、長野県市町村教育委員会連絡協議会、公益社団法人信濃教育会、JA長野中央会、…

10 参加費

3,500円(参加資料代として イベント保険代を含みます)

11 大会報告書

1,000円(送料を含む 希望者に配布します)

※参加申込書にて申し込みください。大会当日も申し込み可能です(1日目:全体会場 2日目:各分科会場にて)。

※全国社会教育委員連合、関東甲信越静各都県市社会教育委員連絡協議会、長野県内市町村教育委員会等へは、定数送付いたします。

12 日程

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:30
1日目 11月15日(木) 【全体会】				受付	歓迎 セレ モニ ー	開会 行事	基調講演	パネルディスカッション	閉会 行事	分科会 打合せ (関係者)	情報交換会 (希望者)	
活動見本市(展示ギャラリーにて)												
2日目 11月16日(金) 【分科会】	受付	分科会 (分科会ごとに閉会)										
	9:00	10:00	11:00	12:00								

13 内容

1日目 11月15日(木)【全体会】

<全体会場>ホクト文化ホール(長野県県民文化会館) 中ホール

〒380-0928 長野市若里1-1-3 ☎026-226-0008

12:30~17:05
(受付開始/11:20)

(1) 歓迎セレモニー

<真田勝鬨太鼓(さなだかちときだいこ)>

長野市の千曲川の南にたたずむ真田十万石の城下町「松代」は、真田信繁(幸村)の兄真田信之が治め、その歴史を守り伝える町として、真田家の史跡をはじめ、川中島合戦であいまみえた武田信玄の本陣「海津城」や上杉謙信の本陣「妻女山」など、今なお、いにしへの面影を残しています。真田勝鬨太鼓は、その歴史の町「松代」に伝わる郷土芸能として今日まで受け継がれてきました。勇壮な武者姿に身を包んだ面々が、戦に勝った喜びの太鼓を時には高く、時には低く、力強く打ち鳴らします。



12:30~12:45
(15分)

(2) 開会行事

主催者挨拶
来賓祝辞

13:00~13:25
(25分)

(3) 基調講演

13:40～14:40
(60分)



◇演題 「人と地域が育つ社会教育の役割」

◇講師 佐藤 一子(さとう かつこ) 氏
(東京大学 名誉教授、元日本社会教育学会 会長)

専門は社会教育学・生涯学習論。学生時代から現在まで、長野県内各地の公民館・社会教育現場に足を運ばれ、長野県に大変ゆかりの深い先生です。社会教育活動や、文化の伝承・創造の取組みが、人を育て地域を支えていく道筋について、地域での実践と重ねてお話していただきます。主な著書として、『地域学習の創造』(東京大学出版会)『地域文化が若者を育てる』(農文協)『生涯学習と社会参加』(東京大学出版会)『子どもが育つ地域社会』(東京大学出版会)など多数。

(4) パネルディスカッション

15:00～16:40
(100分)

◇テーマ

「連携・協働による未来志向の社会教育のあり方を考える ～持続可能な地域コミュニティを目指して～」

◇パネリスト

小岩井 彰 氏 (長野大学 特任教授)

第1分科会ファシリテーター

新崎 国広 氏 (大阪教育大学 教授)

第3分科会ファシリテーター

白戸 洋 氏 (松本大学 教授)

第5分科会ファシリテーター

木下 巨一 氏 (長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課 企画幹)

第2分科会ファシリテーター

小池 玲子 氏 (長野県社会教育委員連絡協議会 会長)

◇コーディネーター

西 一夫 氏 (信州大学 教授)

第4分科会ファシリテーター

(5) 閉会行事

16:50～17:05
(15分)

次期開催県挨拶とPR(埼玉県)

主催者挨拶

(6) その他

<活動見本市(自由見学)>

10:30～15:00

入口展示ギャラリーにて、社会教育委員・社会福祉協議会・公民館・学校・企業・市民団体・市町村等の活動の様子や取り組みをパネルにして展示します。

<分科会打合せ(関係者)>

17:20～18:00
(40分)

<情報交換会(希望者)>

18:30～20:30
(120分)

会費:6,000円 会場「ホテルメトロポリタン長野」

〒380-0824 長野市南石堂町1346 ☎026-291-7000

2日目 11月16日(金)【分科会】

9:30～12:10
(受付開始/ 9:10)

◎実践事例を題材に、持続可能な地域コミュニティを築く、あるいは築き直すうえでの未来につながる社会教育のあり方について協議します。

<第1分科会(予定)>長野バスターミナル会館 4階 国際ホール

〒380-0936 長野市中御所岡田178-2 ☎026-228-1156

<第2、第3分科会(予定)>JA長野県ビル 12階 12A会議室、12B会議室

〒380-0826 長野市大字南長野北石堂町1177-3 ☎026-236-3600

<第4、第5分科会(予定)>長野市生涯学習センター 4階 大学習室1、大学習室2・3

〒380-0834 長野市鶴賀問御所町1271-3 TOiGOWEST(トイゴウエスト)内 ☎026-233-8080

※分科会会場は参加申し込みの希望人数により決定し、参加券送付時にお知らせします。

第1分科会	分科会名	テーマとサブテーマ(予定)	ファシリテーター
	学校・家庭・地域の連携と社会教育	学校・家庭・地域の連携と社会教育のあり方 ～次世代の学校・家庭・地域の連携について考える～	長野大学 特任教授 小岩井 彰 氏
	発表市町村	発表の概要	
	鋸南町 (千葉県)	「次世代を担う子どもたちの健やかな成長を育む ～学校・家庭・地域の連携を通して～」 鋸南町社会教育委員は、町の次世代を担う子どもたちの意見を町政に反映させるために「鋸南町ふるさと子どもアンケート」を実施すると共に、町の現状を調査し、教育委員会に対して提言書を提出しました。それを受けた教育委員会では、学校・家庭・地域が連携し、一体となって子どもたちの成長を育むための様々な取り組みを推進しています。『放課後子ども教室』『子どもチャレンジ実行委員会』等を中心に紹介します。	
	長野市 (長野県)	「地域と学校が連携した松代のまちおこし」 松代町は、真田十万石の城下町で、武家屋敷や藩校である文武学校など文化財が残っているまちです。まち全体を生涯学習交流のまち、遊学城下町として平成16年(2004年)から「エコールド・まつしろ」という観光PR活動が始まりました。町内の小中学校でも、地元を知るという学習が行われ、地域の皆さんが講師として関わってきました。平成28年(2016年)「真田丸」の放映で増加する観光客をおもてなしするため臨時観光案内所を開設し、中高生も参加しました。地域の人づくりにつながっている、小中学校の取り組みを紹介します。	
高山村 (長野県)	「学校・家庭・地域をつなぐ『わくわく村(親子体験活動)』」 『わくわく村』は、平成16年(2004年)に「地域の子どもは地域で育てる」との思いで、高山小学校PTA活動からスタートしました。公民館、地域、学校、社会教育委員との連携を深めながら、今年で15年になります。親子体験活動を通して、子どもたちは親や地域の大人が頑張っている背中や“ずく”を出して楽しんでいる姿を見ながら、多くの人とふれあっています。人とのつながりの中から心の温かい人に成長してほしいと願う『わくわく村』の活動を紹介します。		

第2分科会	分科会名	テーマとサブテーマ(予定)	ファシリテーター
	公民館活動と社会教育	公民館活動と社会教育のあり方 ～古くて新しい公民館活動をヒントに持続可能な地域づくりについて考える～	長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課 企画幹 木下 巨一 氏
	発表市町村	発表の概要	
	千葉市 (政令市)	「公民館の役割と指定管理者制度」 千葉市では、これまでも公民館が市民の交流や学びの場として、地域や社会に人々のまなざしを広げる窓としての役割を担ってきました。公民館は、年間で、延べ100万人を超える市民が利用していますが、利用者数、講座開催数が減少傾向にあるとともに、施設の老朽化も進行しています。このような状況を踏まえ、生涯学習ニーズの多様化への対応や、適切な施設整備を進めるため、平成30年度(2018年度)から全47公民館に指定管理者制度を導入しました。新しい制度の下、市民にとっての公民館のあり方について紹介します。	
	上田市 (長野県)	「夏休み上野が丘わいわい塾 ～地域の子どもは地域で育てよう!～」 夏休みの子どもの居場所づくりとして始まった「わいわい塾」は今年で7年目。学区を超え、抽選で選ばれた小学生100人が、それ以上の数のボランティアに見守られ、ダイナミックに遊び、学ぶ4日間。当初、学習支援を主とした活動でしたが、現在は地域の大人達による運営委員会が半年前から準備を進める地域探訪や野外活動へと進化。そして今「わいわい塾」OB・OGの中高生が自発的にボランティアとして参加するなどさらに充実していく公民館事業の取り組みを紹介します。	
王滝村 (長野県)	「子ども大人がともに“心育ち” ～わくわく人権みんなの樹業(じゅぎょう)の実践から～」 「最近うれしかったことは何ですか」そんな話題を身近な人、家族、地域の中で気軽に話せる環境はとても大切です。近年、地域間の人と人とのつながりの希薄化や親子での会話の減少から、「うれしかったこと」を話せば敬遠される風潮さえあります。子ども大人も一緒に喜びを共感することこそ、地域づくりにおいて大切な事です。公民館の人権教育講座と小中学校の人権教育授業を連携して取り組んでいる“心育ち”で地域をつくる、人口770人の村の実践を紹介します。		

第3分科会	分科会名	テーマとサブテーマ(予定)	ファシリテーター
	福祉教育と社会教育	福祉教育と社会教育のあり方 ～普段の暮らしの幸せをどのように地域で実現していけばいいかについて考える～	大阪教育大学 教授 新崎 国広 氏
	発表市町村	発表の概要	
	諏訪市 (長野県)	<p>「子どもと地域が共に学ぶ防災と、福祉教育について」</p> <p>豊田小学校ボランティア支援グループが中心となり、子ども達と地域の方々が下校後の大規模災害発生を想定した防災訓練「学校に避難しよう」を行いました。長野県社会福祉協議会では、四賀小学校の登下校中災害時の避難訓練の様子と全県小中学校への発信について紹介します。また、諏訪市社会福祉協議会では、「C-DAP」という防災プログラムを通して自分たちの暮らす地域について改めて学び、災害にも強く、誰もが心豊かに暮らせる地域づくりに取り組む様子、及び、学校での「共に生きる福祉教育」の様子と地域への発信について紹介します。</p>	
伊那市 (長野県)	<p>「イベント参加報告書の取り組みと具体例『長谷の縁側』」</p> <p>社会教育委員が社会教育に関わる行事に参加。感想や問題点などをレポートにまとめ、社会教育委員会議で発表し、情報共有を行っています。その中で報告された伊那市立長谷中学校の「長谷の縁側」は、立ち上げから運営に伊那市社会福祉協議会も関わり、毎月最終金曜日には、お茶を飲みながら生徒と一緒に作業を行い、中学生と地域の皆さんが交流を深める場となっています。主に社会福祉協議会が、どのように学校と関わることができるかを考えながら、地域の方々が学校で行う活動の様子を紹介します。</p>		

第4分科会	分科会名	テーマとサブテーマ(予定)	ファシリテーター
	社会教育委員の役割と社会教育	社会教育委員の役割と社会教育のあり方 ～社会教育委員の役割やあり方、実践の仕方について考える～	信州大学 教授 西 一夫 氏
	発表市町村	発表の概要	
	新潟市 (政令市)	<p>「第32期新潟市社会教育委員の取り組み」</p> <p>社会教育法第十七条(「社会教育に関する諸計画を立案すること」)に基づき、新潟市社会教育委員会議では、その時々により重要と思われるテーマを設定し、建議として各期2年間の議論の内容をまとめてきました。第32期では、第31期の建議がどの程度実践できているかを検証するため、「『学びの循環』による人づくり」と題して建議を作成しました。第32期新潟市社会教育委員の建議づくりの取り組みについて紹介します。</p>	
小諸市 (長野県)	<p>「社会教育委員の役割とは何か ～小諸市の活動から～」</p> <p>小諸市では、市内の小中学校を訪問し、平成29年度(2017年度)に「信州型コミュニティスクール」に関する調査報告と提言を行いました。また、委員個人の活動として、新設された小諸市古文書調査室を訪問して現状と課題を調べ、意見書を提出しました。「社会教育委員の役割とは何か」について、小諸市の社会教育委員の活動を通しての取り組みについて紹介します。</p>		
喬木村 (長野県)	<p>「『たかぎ子育て憲章』制定による社会教育活動の推進について」</p> <p>「ノーテレビ・ノーゲーム」を推進するための手法について、教育委員会からの諮問を検討する中で、「たかぎ子育て憲章」を策定しました。また、小学校3～6年生を対象にした夏休みの「おとまり体験事業」、たかぎカメラクラブによる「写真で発見! たかぎむら」を行っています。「考動する(考えて行動する)社会教育委員」を活動理念に、PDCAサイクルで活動を行っている、喬木村の社会教育委員の取り組みについて紹介します。</p>		

分科会名	テーマとサブテーマ(予定)	ファシリテーター
未来の地域づくりと社会教育	未来の地域づくりと社会教育のあり方 ～未来志向の社会教育について考える～	松本大学 教授 白戸 洋 氏
発表市町村	発表の概要	
鹿沼市 (栃木県)	<p>「地域との協働で社会教育委員活動を活性化する」</p> <p>地域の中でまだまだ知られていない社会教育活動を、「まつり」を通して市民に知っていただき、市民と協働で子どもの健全育成を行う体験活動(体験の風)を実施します。また、地域のかかる「かぬまかるた」を通して地域の歴史を知ることや、コミュニケーションづくりができるような大会を社会教育委員が開催します。子どもが体験することの重要性をふまえ、社会教育委員の活動から子どもの体験活動を活性化させていく取り組みを紹介します。</p>	
岡谷市 (長野県)	<p>「行動する岡谷市の社会教育委員」</p> <p>昨年度の社会教育委員の活動において、図書館施設の利用などについて提言したものをまとめました。身近な社会教育に関心を持ちながら、些細なことでも自由に発言することを大事に活動しています。一昨年度、第58回全国大会(第47回関東甲信越静大会)千葉大会の分科会において発表した、「社会教育委員の役割 ～人づくり・まちづくりを進める社会教育委員の役割～」の続編として、市民が住みやすい、これからのまちづくりを目指しての取り組みを紹介します。</p>	
大桑村 (長野県)	<p>「大桑村の明日を語る集い」</p> <p>小中学校へ通う子ども、お父さんお母さん、おじいさんおばあさん、公民館の関係者、村議会に関わる人など、幅広い多くの村民が顔を合わせて行われてきた「大桑村の明日を語る集い」。今年で22回を数えます。この集いへの参加を通して、参加者一人一人が大桑村のこれからについて考えを持ち、できることから始めようという意識が高まってきています。社会教育委員が主催し、社会教育委員がファシリテーターとなって熱く語り合う、この集いの様子を紹介します。</p>	

第5分科会

14 その他

(1) 分科会の欠席連絡について

分科会によっては、小グループでの協議の時間を設定します。その場合、欠席者が出ると小グループ編成に支障が出てしまいます。そのため、分科会への参加を取りやめる場合は、大会1日目終了時までにお手数でも実行委員会事務局へご連絡いただきますようお願いいたします。

【大会前日まで】

長野大会実行委員会事務局(長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課内)へ電話にて連絡
☎026-235-7437

【大会1日目】

中ホール入口受付総合案内へ口頭にて連絡 又は 上記事務局へ電話にて連絡
☎026-235-7437

(2) ご不明な点等がございましたら、長野大会実行委員会事務局(担当:大日野、池口)までお問い合わせください。

第49回関東甲信越静社会教育研究大会長野大会実行委員会事務局

〒380-8570 長野県長野市南長野幅下692-2

長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課内

TEL 026-235-7437 FAX 026-235-7493

Eメール bunsho@pref.nagano.lg.jp